令和8年度　全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

１　調 査 日

令和８年４月 23 日（木）

２　調査集計対象

小学校第６学年児童（公立）　全国　922,411 名（うち江戸川区　5,005 名）

３　区内実施校数

全小学校 65 校

４　調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握･分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

５　調査内容

（１）　教科に関する調査

○　国語・算数

（２）　生活習慣や学習環境に関する調査

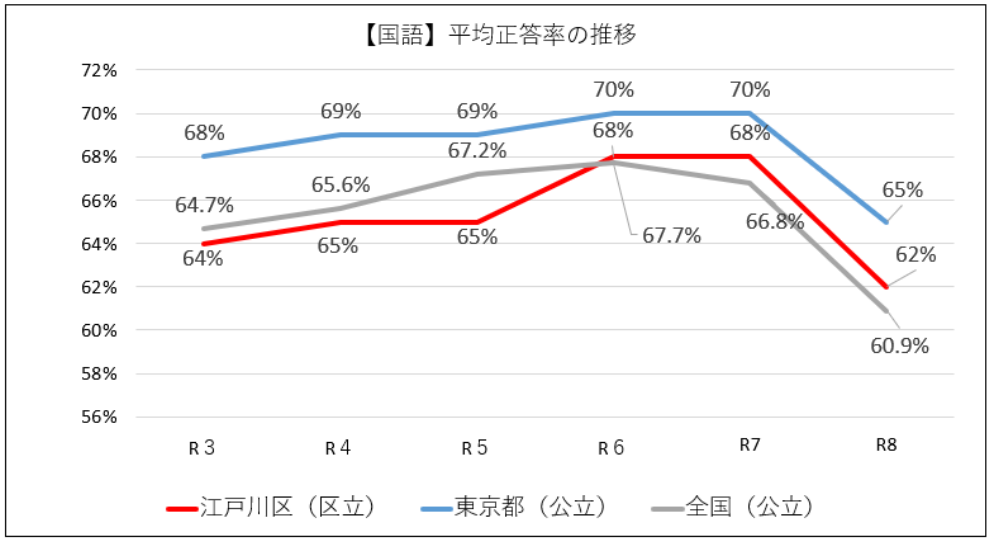
○　児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

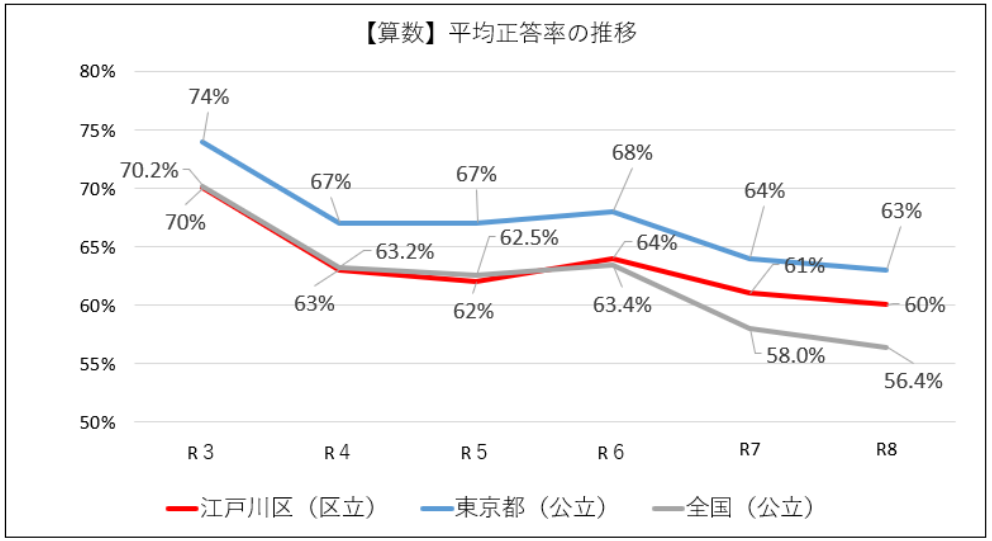
○　学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査）

江戸川区教育委員会教育指導課

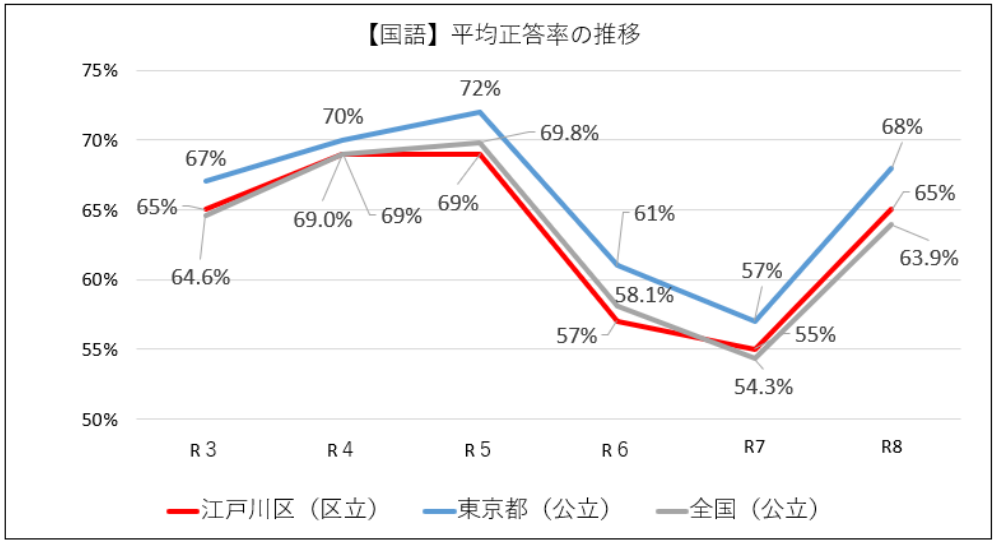
全国学力・学習状況調査　令和３～８年度における平均正答率の推移

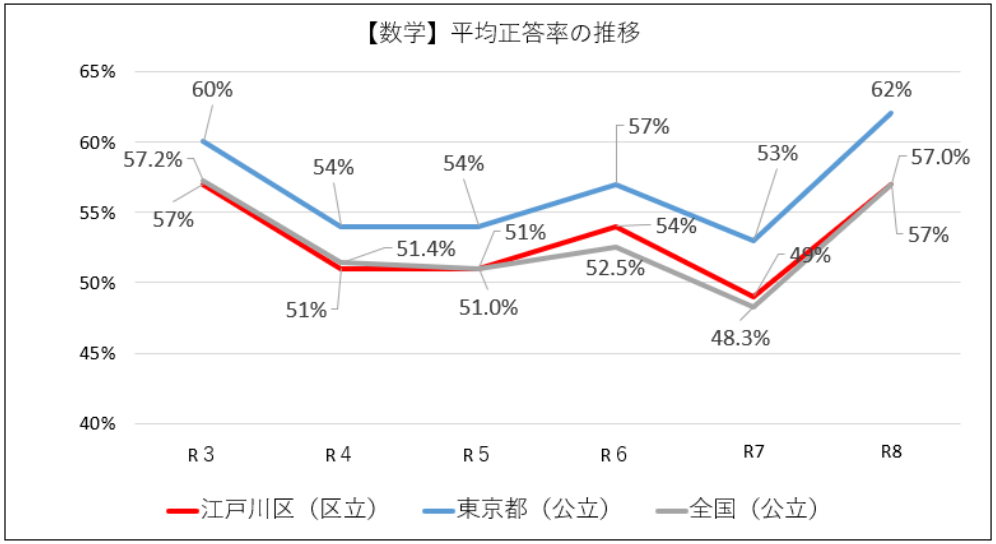
【小学校】





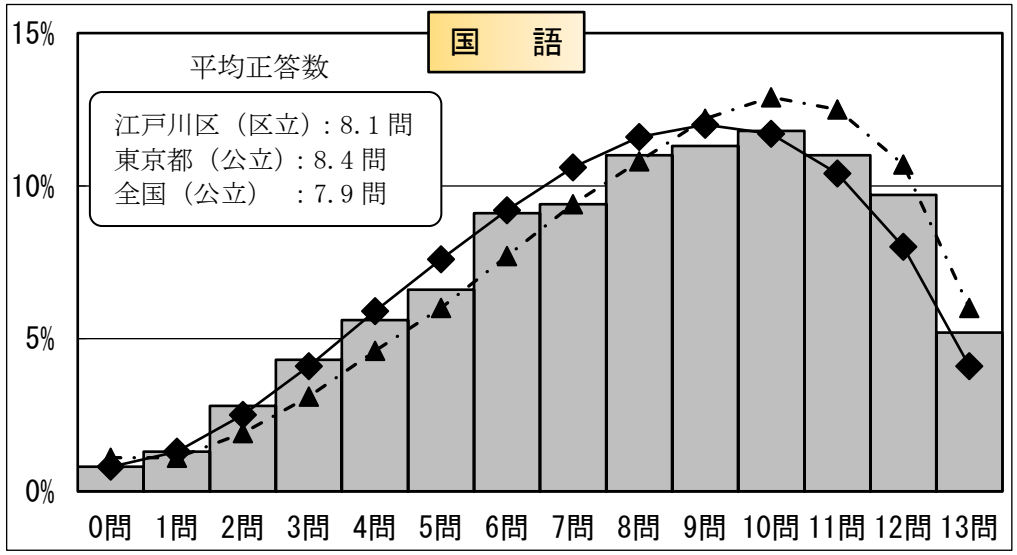
【中学校】

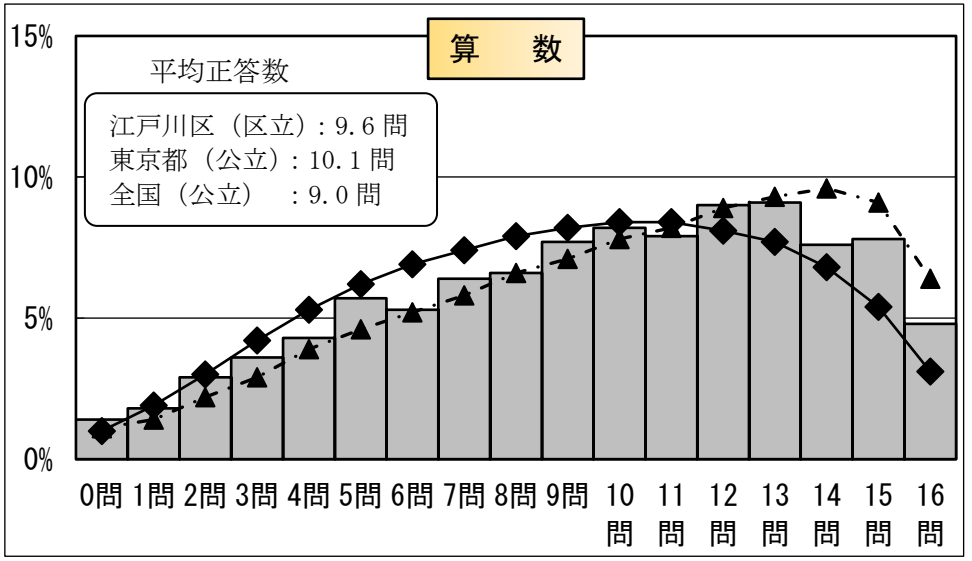




令和8年度　全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

正　答　数　分　布





江戸川区（区立）　東京都（公立）　全国（公立）

＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

上位 ←→ 下位

国　語	Ａ層 12～13 問	Ｂ層 9～11 問	Ｃ層 7～8 問	Ｄ層 0～6 問
江戸川区（区立）	14.9	34.1	20.4	30.5
東京都（公立）	16.7	37.6	20.2	25.5
全国（公立）	12.1	34.1	22.2	31.4

(%)

上位 ←→ 下位

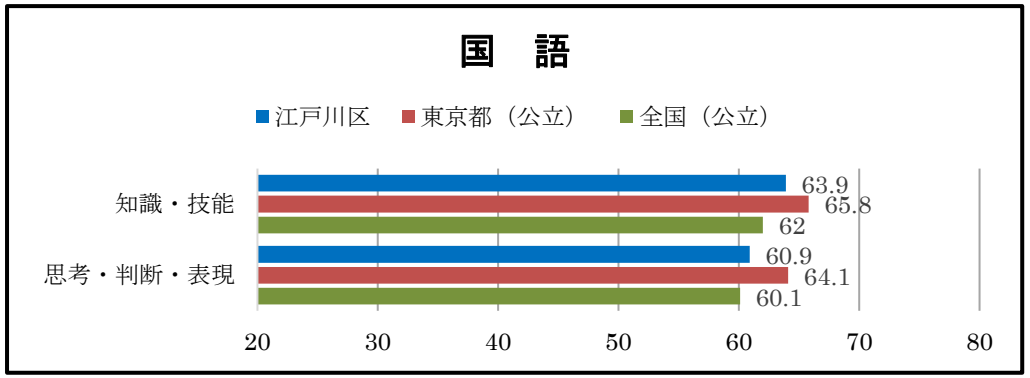
算　数	Ａ層 14～16 問	Ｂ層 11～13 問	Ｃ層 7～10 問	Ｄ層 0～7 問
江戸川区（区立）	20.2	26.0	22.5	31.4
東京都（公立）	25.1	26.4	21.5	27.1
全国（公立）	15.3	24.2	24.5	35.9

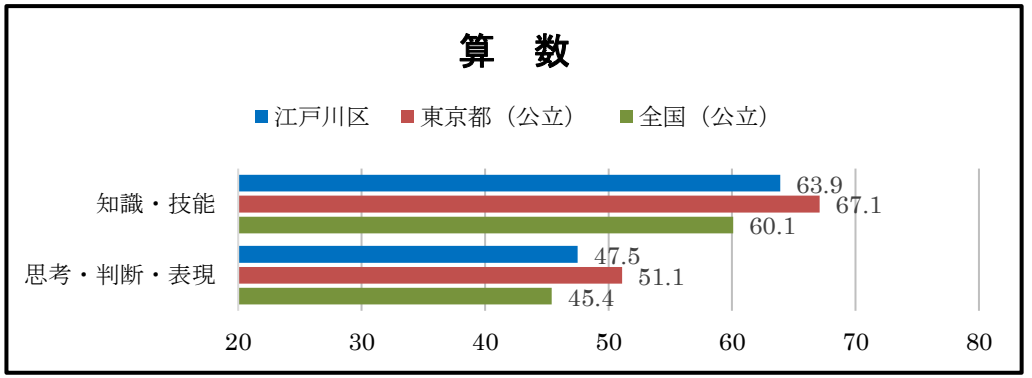
(%)

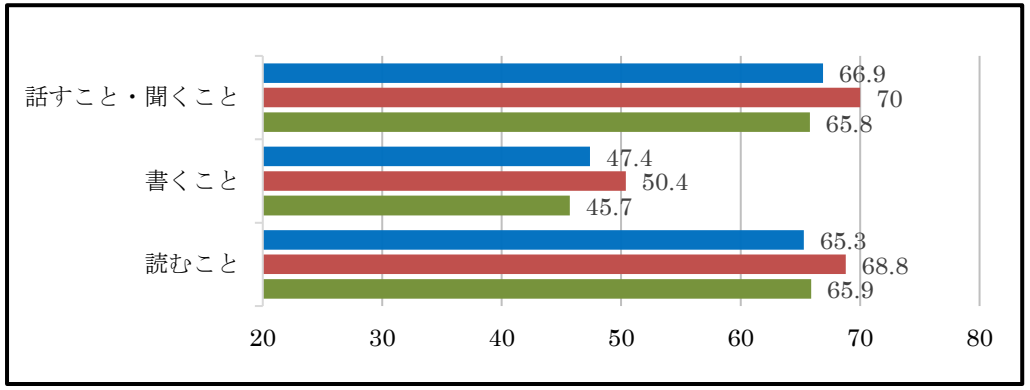
令和8年度 「領域別」の結果と課題 【小学校】

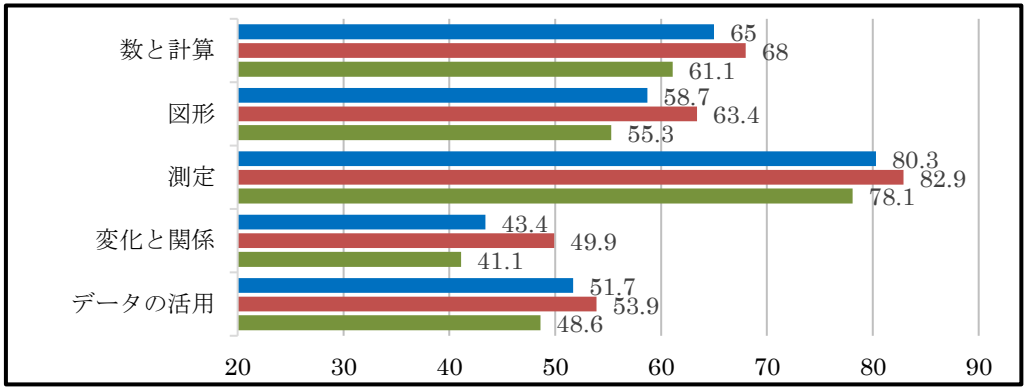
「領域別」の結果

以下、平均正答率（%）を示す。









【平均正答率の差】

	国語	算数
江戸川区（区立）	62%	60%
東京都（公立）	65%	63%
全国（公立）	60.9%	56.4%

【全国平均、東京都平均との関係】

＜全国との関係＞

○国語は **1.1 ポイント**、算数は **3.6 ポイント**、全国平均正答率を**上回った**。

○「知識・技能」においては、国語の全国平均正答率を **1.9 ポイント上回った。**算数の全国平均正答率を **3.8 ポイント上回った**。

「思考・判断・表現」においては、国語の全国平均正答率を **0.8 ポイント上回り**、算数の正答率は、**2.1 ポイント上回った**。

＜東京都との関係＞

○国語は「書くこと」で-3 ポイントに対し「読むこと」について-3.5 ポイントと差が大きい。

○算数は「知識・技能」で-3.2 ポイントに対し、「思考力・判断力・表現力」は-3.6 と差が大きい。

令和8年度「設問別」の結果と課題【小学校】

国語

平均正答率が東京都より高い問題

2

三　花山さんは、【花山さんの文章の一部】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたところを漢字に書き直すことにしました。次の――部ア、イを漢字で丁寧に書きましょう。

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。

なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

【出題の趣旨】
２三（ア）
学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる

【正答率】		【無回答率】	
江戸川区	55.5%	江戸川区	5.3%
東京都	52.3%	東京都	6.7%
全国	45.2%	全国	6.6%

【本区のこれからの取組】
国語の学習の基礎・基本である常用漢字の問題について、正答率だけでなく、無回答率においても東京都の6.7%に対して、本区では5.3%と一定以上の成果を収めている。
江戸川区の児童は漢字や語句などの、基礎・基本が身に付いている反面、自己の考えを文書で適切に記述することに課題が見られる。課題を解決するためにも、児童の学びを深める学習の流れとポイントを示した「国語授業スタンダード」において、学年に応じ系統的に指導するための具体的なポイントを示し授業改善を図っている。
引き続き、教員の授業力向上を推進していく。

平均正答率が東京都より低く、無解答が多い問題

2

四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か
「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そでででもすずしく過ごすことができそうだ。
また、［　　］

5　終わりに
これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

【出題の趣旨】
２四
引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

【正答率】		【無解答率】
江戸川区	33.2%	6.7%
東京都	37.2%	5.8%
全国	33.5%	5.2%

【本区のこれからの取組】
文章を読み取り、自分の考えを記述する力に課題がある。新聞記事を活用した読解教材を通して、正しい情報を読み解く力が向上しているが、今後は効果的な実践を行っている学校の活用事例などの共有を行い、より一層児童の読解力の向上や、教職員の意識の向上を推進していく。

令和8年度 「設問別」の結果と課題 【小学校】

算数

平均正答率が東京都より高い問題

4 (3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ㋐ 人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ㋑ 人です。

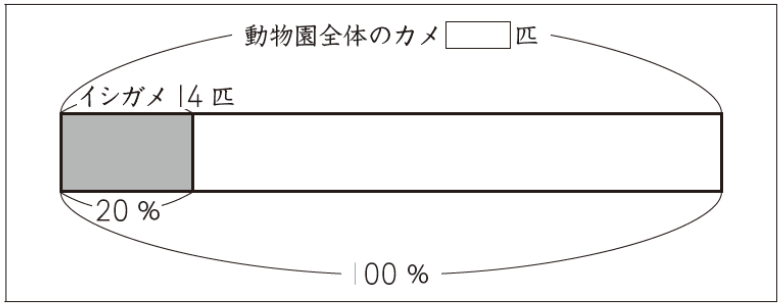
【出題の趣旨】
4 (3)
二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる

【正答率】江戸川区 27.6% 東京都 26.5% 全国 17.9%

【本区のこれからの取組】
本区で独自に実施をしている、年3回の学力定着度調査（算数）において、表の読み取りについて、継続的に出題する取組を行った結果、一定以上の成果を得ることができた。今後も、児童が自身のつまずきや成長を把握して改善に取り組むとともに、学校も授業改善や習熟に向けた指導に生かしてきた。学力定着度調査（算数）の結果を生かし、指導の充実及び学習の改善に取り組んでいく。

平均正答率が東京都より低い問題

2 (2) この動物園にはいろいろなカメがいます。そのうちイシガメは14匹(ひき)います。イシガメの数は動物園全体のカメの数の20%です。



この動物園全体にはカメが何匹いますか。
求める式とその答えを書きましょう。

【出題の趣旨】
2 (2)
百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる

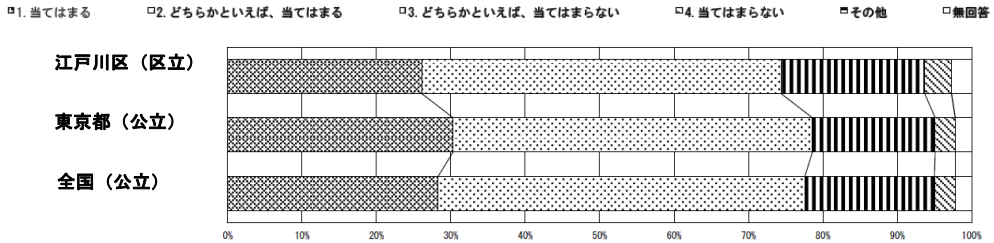
【正答率】 江戸川区 54.3% 東京都 62.0% 全国 53.1%

【本区のこれからの課題】
割合と比較量から、基準量を求める際に、数直線を活用し、数量の関係を捉えることができるような指導を行う。統合的・発展的に考察することが重要であり、引き続き、江戸川区算数授業スタンダードに基づいた「課題把握」「見通し、自力解決」「比較・検討、まとめ、適用問題」の問題解決的学習を通して児童の思考力・判断力・表現力を育んでいく。

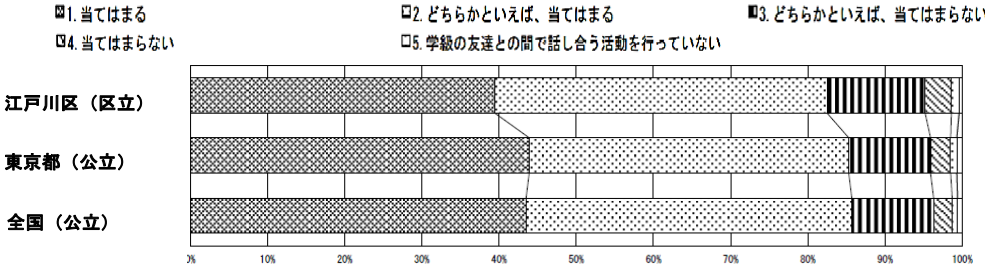
令和8年度　児童質問紙調査【小学校】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

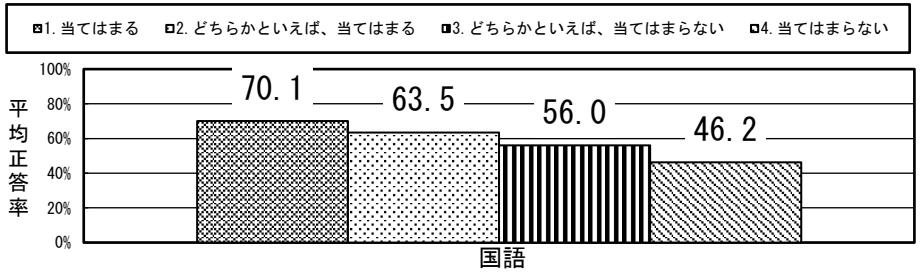
39　５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

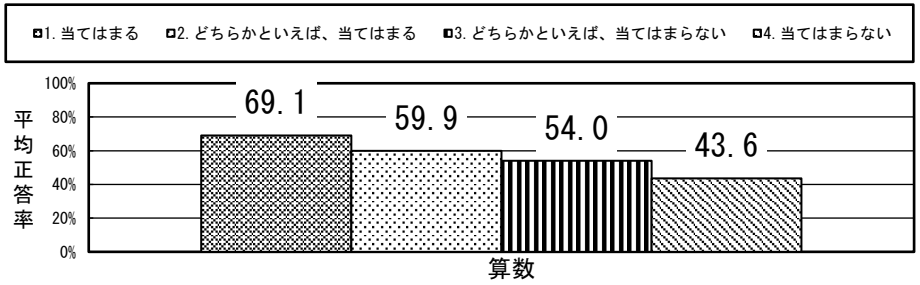


42　学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

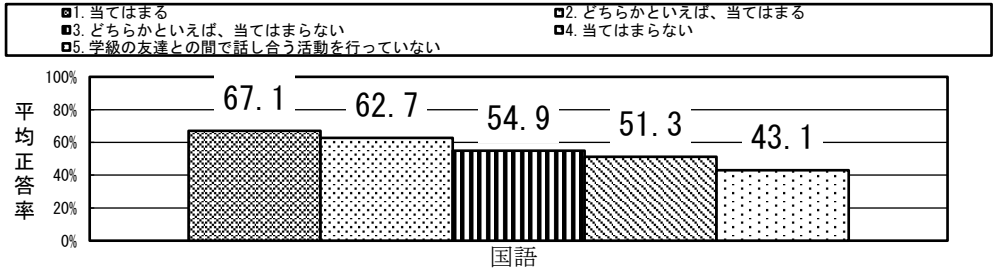


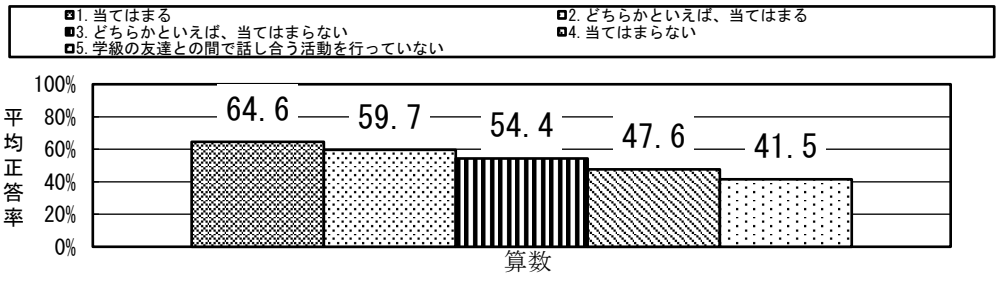
授業への主体的な取組と学力のクロス集計





授業への対話的な取組と学力のクロス集計



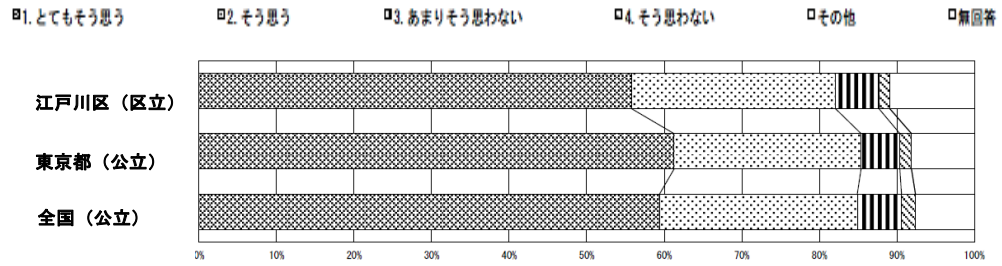


「当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、全国及び東京都を下回っている。５年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、「自分で考え、自分から進んで取り組んでいる」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている」という項目について、肯定的に回答した児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。児童が課題に対して主体的に取り組むことができることで、平均正答率が向上する相関関係があるため、授業の導入や教材の内容、課題提示等を工夫するとともに、児童自身が様々なデータを活用しながら、自分の学習状況や課題を把握し、自分に合った学習の進め方を考えることができるようにしていく。

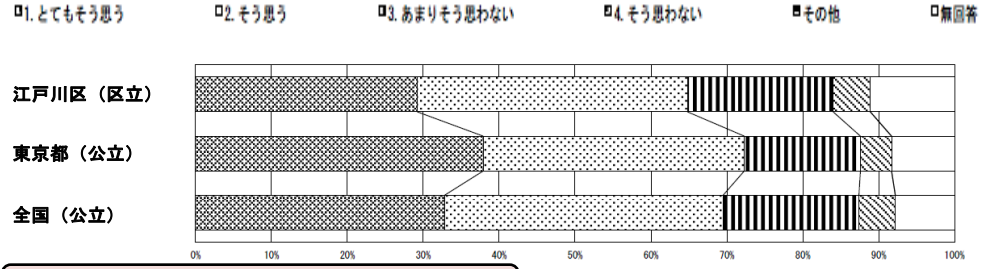
令和８年度　児童質問紙調査【小学校】

ICTを活用した学習状況

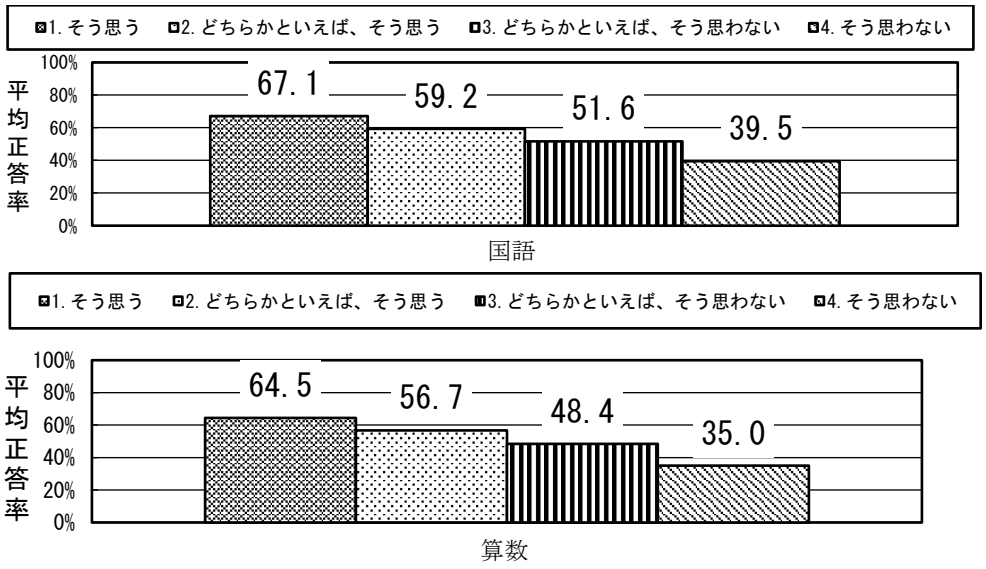
36-2　あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか



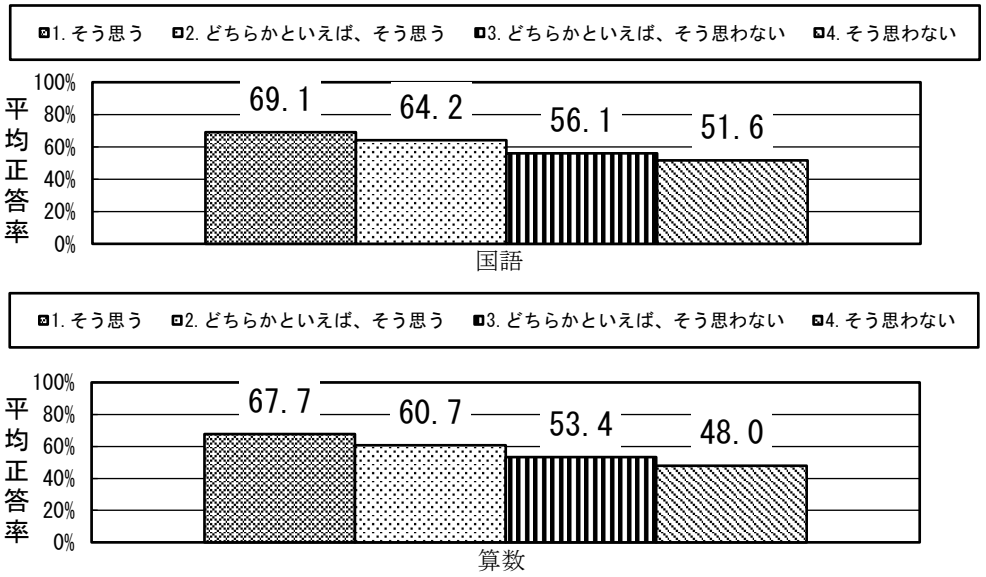
36-3　あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか



ICT活用の効力感と学力のクロス集計



学習習慣と学力のクロス集計



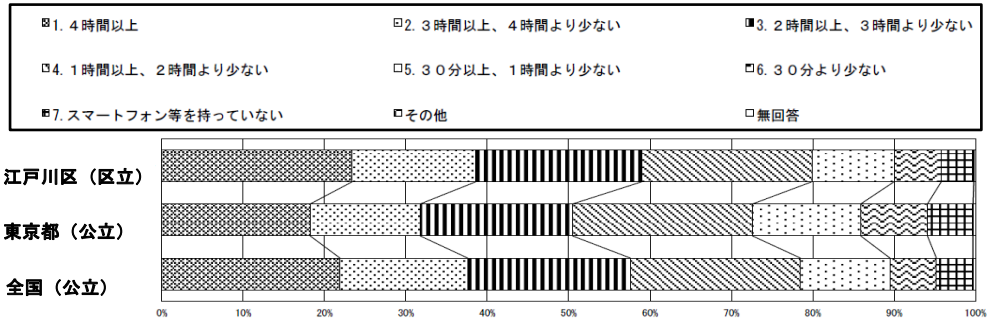
ＩＣＴ機器を活用することについて、インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができるかについて、「とてもそう思う」と回答した児童の割合が、全国及び都を下回った。また、自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って情報を整理することができると思うかについて「とてもそう思う」と回答した児童の割合は、全国及び都を下回った。

ＩＣＴ機器の活用について「とてもそう思う」と回答している児童は、そうでない児童と比較して平均正答率が高い傾向が見られた。今後もＩＣＴを活用した授業実践を推進するとともに、情報の整理やプレゼンテーション、意見交換などの学習活動を充実させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた授業改善を図っていく。

令和８年度　児童質問紙調査【小学校】

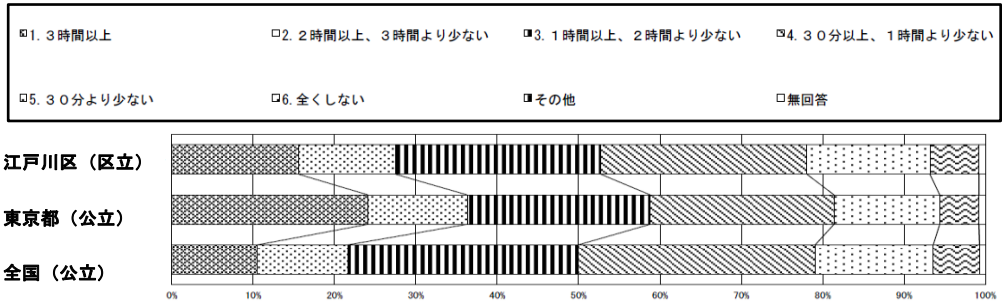
基本的生活習慣

4　普段（月曜日から金曜日）１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

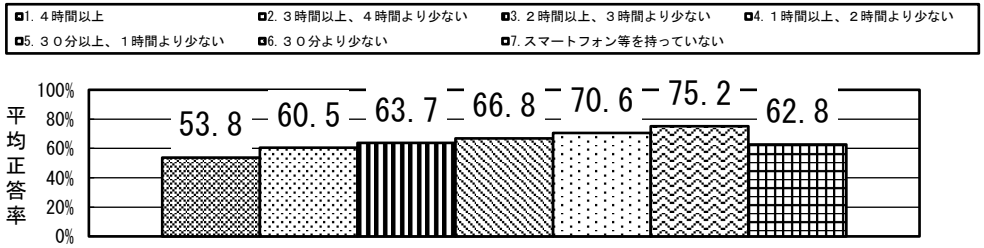


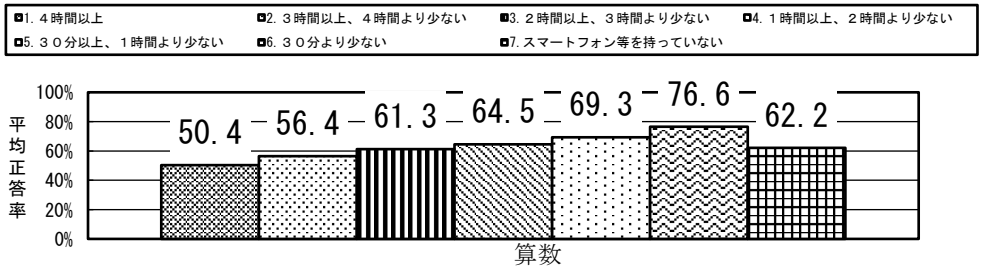
学習習慣・学習環境等

23　学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

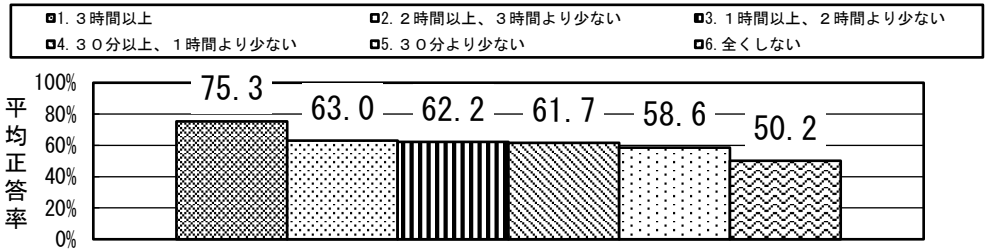


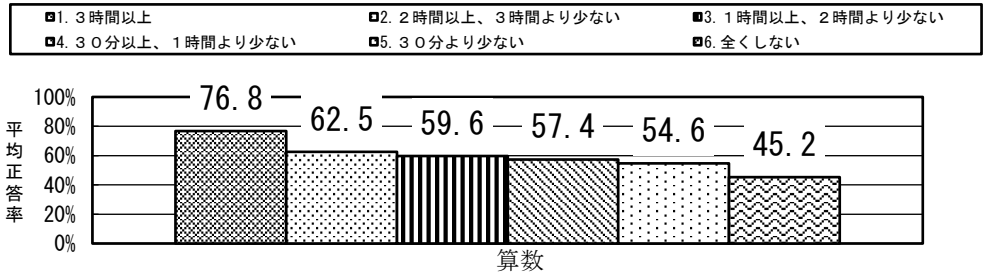
基本的生活習慣と学力のクロス集計





学習習慣と学力のクロス集計





「１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか」という質問に対し、４時間以上と回答した児童の割合が全国及び都を上回っている。また、「学校の授業時間以外に、１日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」という項目では、全国を上回っているが、都の数値を下回っている。適切なスマートフォン等の利用を啓発し、生活習慣を整え、家庭学習の時間を確実に確保することで学力の向上を目指すとともに、家庭学習の一層の充実を図っていく。

令和8年度　学力向上に関わる主な取組【小学校】

○ 「誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」の策定

・「江戸川区立学校における学力向上に向けた取組の指針について」における論点を基に、学力向上に向けた具体的な取組を推進

○ 学力向上プロジェクト推進局の設置

・江戸川区立学校に在籍する小・中学生の学力向上に向けた諸事業を行うことを目的とし、学力向上プロジェクト推進局を設置

○ プロジェクトチームの取組

・「江戸川区算数授業スタンダード」及び「江戸川区国語授業スタンダード」に基づく公開授業の実施
・算数・国語における強化校の取組実施
・筑波大学附属小学校教諭及び、明星学苑明星小学校教諭による公開授業及び講演会の開催
・年３回、江戸川区学力定着度調査（算数）を実施し、学習カルテを作成し、弱点補強に取り組む
・読解力向上を目指し、新聞記事を活用したワークシート教材（年間 30 回）を第４学年（後期のみ)、第５学年、第６学年 で実施

○ 江戸川区学力調査の実施

・国語、算数、学習意識調査を第３～６学年で実施

○ ＥＤＯＧＡＷＡ　ＳＵＴＵＤＹ　ＳＱＵＡＲＥ～誰一人取り残さない学習支援事業～

・令和４年度から放課後学習教室（ＥＤＯスク）事業を全校で実施

○ 東京方式 習熟度別指導ガイドラインに基づく効果的な「習熟度別指導」の推進

・算数の授業において、効果的な「習熟度別指導」を実施

○ ＩＣＴを活用した協働学習の推進

・各教科等の授業で一人１台端末を活用し、授業改善を推進

○ 学校図書館の活用

・学校図書館の環境整備を進め、各教科等で学校図書館を活用、学校図書館への区立図書館職員の全校巡回

○「読書科」の充実

・読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成（全校の各学年で年間 35 時間実施）

○ 電子ドリルの活用

・電子ドリルを活用した「江戸川っ子 study week!」の実施（各学期に１週間実施）

○ 小学校１年生から中学校３年生までの９年間を見通した英語教育の充実

・江戸川区英語教育プログラム Edogawa　English　Program 理論編、実践編の作成、英語体験学習（TGG）の実施